

令和4年度 県文化審議会（第2回）における主な意見

委員	発言要旨	反映箇所
A	<p>・各地域の住民がやろうとしていることを助けてあげることが重要。 <u>まずはその土地にあるものを見直し、活発化させ、その上で足りない部分を導入するという方向性で文化政策を進めるべき。</u></p> <p>・日本は演劇が活発でない中、<u>富山はSCOTがある。小中学校から触れていけるようにすると富山ならではの文化政策につながるのではないか。</u></p>	I ①
B	<p>・県の美術館における、<u>小学生の美術館見学ツアーの取組みなどを学校教育の中に位置づけることが大事。</u></p> <p>・<u>立山と白山、富士山の三霊山について、山文化というものを位置づける必要がある。</u></p>	I ① II ①
C	<p>文化活動では<u>文芸というものも重要。</u>ごく短いものでもよいので詩や俳句を作る、落語に挑戦するなど、<u>創作に対する意識を養うような工夫が重要</u></p>	I ①
D	<p>・<u>富山に既にある地域の文化やSCOTなど地元化された文化を、企業や仕事などに落とし込んでいくと、富山の文化産業となる。</u>高岡銅器における能作のように、<u>富山県全体の変わり目の演出、一種のプロデュースシステムを県の方で考えられるといいのではないか。</u></p> <p>・<u>STEAM教育の概念の普及は、社会人に対しても重要。</u></p>	II ③
E	<p>富山には素晴らしい文化資源がある。<u>中にいると見えにくい素晴らしさを県民の方々にきづいていただき、支えていただけるよう、発信の方法を考える必要がある。</u></p>	II ①
F	<p>・子供たちの本来の<u>教育と芸術が結びつくためには、教育現場との連携を深める必要がある。</u></p> <p>・<u>コロナを経てオンライン配信やアーカイブの利用が進んだ。学校教育と結び付け、人材育成面でもオンラインを積極的に活用する方法を検討してはどうか</u></p>	I ②
G	<p><u>文化部についても、1年を通じて継続的に専門的な指導ができる指導者、運動部のスポーツエキスパートのような、アーティストエキスパートのような位置づけの、人材の充実、育成に取り組んでいただきたい。</u></p>	I ②

委員	発言要旨	反映箇所
H	<p>・文化施設においては、<u>内部公開、限定公開など特別な体験を通じ、さらなる魅力向上、発信に努めていただきたい。</u></p> <p>・今後増加が見込まれるインバウンドへの対応、<u>具体的には多言語開設・案内、キャッシュレスなどに取り組んでいただきたい。</u></p> <p>・立山での観光について、自然だけでなく、<u>文化的な背景、立山信仰や電源開発の歴史</u>などを知っていただきたい。<u>立山博物館、カルデラ博物館などの施設を核・中心とした文化振興、観光振興、地域の活性化に努めていただきたい。</u></p>	<p>Ⅱ①</p> <p>Ⅲ②</p>
I	<p>各美術館、博物館で活用する<u>ボランティアの方々に、関わり方や責任について教育する制度を整備</u>されたい。</p>	<p>I③</p>
J	<p>・コロナではどうしても制限される方法に進みがちであるため、<u>生のものに触れる機会の確保については積極的にやっていただきたい。</u></p> <p>・裾野を広げる、支える部分は大事だが、<u>トップレベルのものを伸ばすことも大きな役割を果たす。</u>両面でやっていくことが重要。</p>	<p>I①</p> <p>Ⅲ③</p>
K	<p>日本の和食などの<u>食文化を親子で一緒に楽しめるような体験ができる機会があればよい。</u></p> <p>とやま世界こども舞台芸術祭は本当に素晴らしかったので、<u>食についても、日本の食文化を世界に伝えられるようなものがあれば面白いのではないか。</u></p>	<p>I①</p>
L	<p>・文化に関する子供たちへの関わりは、学校に頼ってはいけなし、<u>父母だけに任せてもいけない。地域での各主体に求められる役割を具体的に示してあれば、当事者意識をもつし、誰がどのような支援を行うか興味を持ってもらえるのではないか。</u></p>	<p>I②</p>
M	<p>MICE、コンベンションの中では、文化施設などを開放し、<u>ユニークベニューの中で、文化プログラムを盛り込んでいくことが求められる。</u>富山県美術館など、<u>一般開放は難しいとしてもスペシャルでクローズドな企画に開放あるいは連携を進めてはどうか。</u></p>	<p>Ⅲ②</p>
N	<p>・富山県の文化の素晴らしさを県民に周知していかなければならない。</p> <p>・新幹線ができたおかげで日帰りの機会が増えている。<u>東京からもお客さんが来るよう展覧会の開催、女性や子供達への事業を進めていていただきたい。</u></p> <p>・子供達に文化を直接体験する機会を増やしていただきたい。また、例えば学校教育に取り入れやすいよう、遠足における食事場所など、<u>管理面でも考慮してはどうか。</u></p>	<p>I①</p> <p>Ⅱ①</p>